

自閉症支援のための TEACCH プログラムセミナー等派遣

発達障害児支援サークル「のびのび」
〒698-0031 島根県益田市多田町 1036-26

助成事業の概要

自閉症をはじめとする発達障害児の支援を行う専門的な機関が不足している島根県においては、親の手による支援が欠かせないものとなっており、発達障害児支援サークル「のびのび」では、その支援活動を会発足以来実践している。しかし、発達障害に関する研究そのものが研究途上で、常に情報が出され、具体的な支援の手法や支援用具などが改訂されている。親という素人による支援活動であるため、間違った支援とならないよう常に最新情報を得て、修正していく必要を感じており、この度、最新の支援を学ぶため、スタッフを下記セミナーに派遣し、活動の専門性を上げることとした。

○派遣セミナー

平成 23 年 8 月 27 日～ 28 日

自閉症カンファレンス NIPPON2011 (東京都)
2 名派遣

平成 23 年 8 月 30 日

講演会「自閉症を正しく理解すること」(福岡市)
3 名派遣

平成 23 年 12 月 10 日～ 11 日

キャロル・グレイ ソーシャルストーリーズセミナー (佐賀市) 2 名派遣

事業の成果

スタッフ複数で、同一セミナーに参加することで、情報の共有化ができ、解釈に戸惑ったとき、

情報を再認識したうえで、活動に活かすことができた。受講内容の専門性が高いだけに、複数受講の重要性を感じている。

また、今回のセミナーでは、具体的な支援の手法を取得することに加えて、会の活動自体にも長期目標と短期目標を持って活動することの意義を学び、今後、この会の運営をどのように展開させていくべきなのか、見直しの機会となった。

セミナー参加者からは、「10 年後の生活がどのようなになっているのか想像しながら、受講していた。このまま、何もしなければ、今と変わらない毎日だろうが、少しでも日々の生活に見通しを持たれば、きっと素晴らしい 10 年後が待っていると感じた。家族だけでなく、社会全体にこのような見通しが持てれば、パニックになっている多くの発達障害が穏やかに、自分らしく生きていけると思う。それが実践するよう日々の積み重ねを大事にしたい。」「講師の口調が、大変やさしく、表情も穏やかで、本当に、自閉症支援に関わっていらっしゃる方は、いつも温和で温かい眼差しで、私たちに接してくださると感じました。何度、救われたことか。そのおかげで、自閉症の文化を理解すること、そして、受け入れ、好きになり、敬意を持つこと、それが、少しずつ分かってきました。まだまだ、後戻りすることもあります。失敗をチャンスにかえて焦らず、ゆっくりと歩いていきたいと思っています。」と意見が寄せられている。

専門的な機関ではない親の会にできることには限界があるが、親自身が、障害のあるわが子に向き合い、仲間同士支え合うことに、その意義があ

ると言われている。今回のセミナー受講により、専門性を高めることができたと同時に、この親の会の原点も確認し、共通認識として深めることができたと感じている。

■ 今後の展開

東西に長い島根県では、専門機関が点在していることから、地域の理解にも地域差がある。そのため、必然的に親の会が、支援を担っていることがあるが、最近では、専門機関が横のつながりを持ち、徐々に地域の理解が広がっている。今後、専門機関と親が、それぞれの立場で個別に活動するのではなく、それぞれが連携し、地域全体の理解と専門性の高い支援を広げていくための方向性を導き出すことを重要と考えている。そのためにも、地域支援会議など積極的に参加し、習得した専門性を活かしていきたい。